

春日井市民病院



病院長名	成瀬 友彦
所在地	愛知県春日井市鷹来町1-1-1
交通案内	JR 中央本線春日井駅下車、春日井市民病院、桃花台東または桃花園行きバス10分春日井市民病院下車またはタクシー8分/東名高速道路春日井ICより10分

□ 病院の特徴

1951年の開設。1998年には、診療科目22科を擁する新病院を現在の地に移転新築した。2001年には単独型臨床研修指定病院の指定を受けるとともに、日本医療機能評価機構からも高い評価で認定を受けている。

人口31万人を超えた現在、地域の基幹病院として最新の医療設備と機器を備え、がん診療拠点病院として先進的な医療を提供するとともに、地域医療支援病院として地域完結型医療を積極的に推進している。2015年には、3次救急指定を受け、救命救急センターとして地域の救急医療に貢献している。また、2017年より28診療科に再編を行っている。

□ 研修プログラムの特徴

【春日井市民病院内科専門研修プログラム】

【研修目標】

超高齢社会を迎えた日本を支える内科専門医として、1) 高い倫理感を持ち、2) 最新の標準的医療を実践し、3) 安全な医療を心がけ、4) プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を提供し、臓器別専門性に著しく偏ることなく全人的な内科診療を提供すると同時にチーム医療を円滑に運営できる能力を習得する。

【研修期間】

3年

【研修スケジュール】

1) 基幹病院コース（基幹施設2年以上+連携施設1年以上）

基幹病院である当院で、専門研修1年目の研修を行います。1年目は、内科各領域1ヶ月毎のローテーション研修を行うとともに総合内科や感染症領域や症例の比較的少ない領域については領域横断的に担当します。

2) 連携病院コース（基幹施設1年以上+連携施設2年以上）

原則として初期研修を行った連携施設で、専門研修1年目の研修を行います。2年目は1年以上、基幹病院である当院で研修を行います。

当院での研修は研修到達度に応じて全体として特定の領域に偏ることなく幅広い内科専門研修となるよう計画します。その後専門研修2-3年目は研修開始連携施設での専門研修を行います。研修到達度により最長1年間の研修開始連携施設での Subspecialty 研修を行います。



2023 JMECC 1

2023 JMECC 2

□ 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院 名古屋市立大学病院 小牧市民病院
公立陶生病院 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 名城病院
東海中央病院 東濃厚生病院 旭労災病院 岐阜県立多治見病院
江南厚生病院 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 名古屋医療センター 土岐市立総合病院

□ メッセージ

指導医（内科専門研修プログラム統括責任者 坂 洋祐）

春日井市民病院の内科専攻医研修プログラムは循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・脳神経内科・糖尿病内科・腎臓内科の6科で構成されております。



春日井市民病院は人口31万人を有する春日井市の中核病院です。そのため、どの診療科においても、豊富な症例を経験することができます。また、指導医も数多く在籍しておりますので、あらゆる症例を適切な指導のもとで担当することができます。膠原病・血液疾患は腎臓内科が担当しておりますが、入院症例はともに年間50例以上存在しますので、内科専門医プログラムに必要な症例は経験できます。当院の内科研修プログラムも各サブスペシャリティ領域の専門医を取得することを念頭におき、各科において専門性の高い医療を行っておりますので、各領域の専門医としても成長できます。

□ 募集要項

・採用予定人数	6人
・給与/月額	368,700円
・当直回数/月	2-3回
・当直料/回	30,000円
・その他	特殊勤務手当有
・応募連絡先	担当者 研修管理室 電話番号 0568 57-0057 Eメール kensyu@hospital.kasugai.aichi.jp